

健 康

質問
61歳の男性です。前立腺がんと診断され、担当医師よりロボット手術を勧められました。ロボット手術は初めてで不安です。ロボット手術について教えてください。

ロボット手術



佐々木 雄太郎
県立中央病院
泌尿器科医長

回答 ロボット手術について説明します。ここで紹介するロボット手術は、

内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチサージカルシステム」を使う内視鏡手術です。一般的にダヴィンチ手術と呼ばれていません。

ロボットの役割は医師の技術支援です。ロボットが自発的に手術するのはありません。医師がロボットを利用し、より精度の高い内視鏡手術を可能にしたのがダヴィンチ手術です。

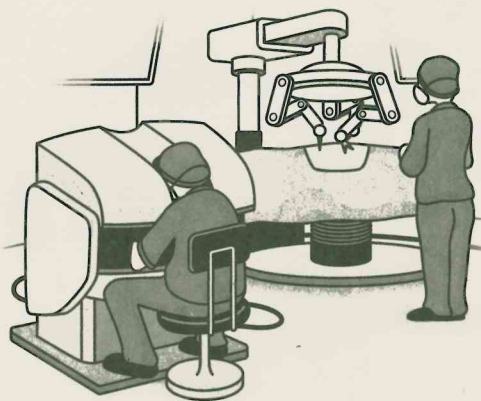
ダヴィンチ手術は、認定資格を取得して十分なトレーニングを積み、熟練した技術を持つ医師が行います。県立中央病院では5人の泌尿器科医師が認定資格を持っています。

精度向上しより安全に



す。精度の高い安全な手術ができるよう腕を磨いています。

手術の傷が小さい、術後の回復が早い、出血量



イラスト・村田 勝彦

が少ないといった従来の内視鏡手術の利点に加え、3Dカメラで拡大された立体画像を見ながら自在に動く鉗子によって、細かい操作ができるのがダヴィンチ手術の利点です。あたかも患者の体内に入り込んで手術するような感覚です。

ダヴィンチ手術が日本で認可されたのは2009年。徳島県では11年に四国で初めて徳島大学が導入しました。12年に前立腺がん、16年に腎臓がんのダヴィンチ手術がそれぞれ保険適用になりました。

県立中央病院は14年にダヴィンチ手術を導入。

今年5月までに計263件の手術を行っています。現在、ダヴィンチ手術は泌尿器科で日常的に行う手術の一つです。

前立腺がんのダヴィンチ手術は、再発や転移が起こらないようにがんを全て取り除いたり、術後に尿失禁がない状態にしたりする点で、従来の手術よりも優れています。

腎臓がんのダヴィンチ手術でも、がんを全て取り除き、腎機能を温存する点で有効です。腎臓がんの部分のみを切除し、腎臓の正常な部分を残すことができます。

4月の診療報酬改定により、ダヴィンチ手術の保険適用対象疾患が一段と拡大。従来の前立腺がんや腎臓がんに加え、ぼうこうがんや肺がん、食道がん、胃がん、直腸がん、子宮がんなど12件のダヴィンチ手術が新たに対象となりました。泌尿器科以外の診療科でもダヴィンチ手術が急速に普及するでしょう。

(第4土曜掲載)

保険適用拡大普及進む

がんに関する質問は
徳島がん対策センター
〈電088(634)6442〉
(平日午前8時半から午後5時まで)